

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育園
事業所名	アスクわに保育園
代表者氏名（管理者）	園長 加藤 すがね
法人名	株式会社 日本保育サービス
定員（利用人数）	定員60名（利用人数73名） 0歳児6名、1歳児13名、2歳児10名 3歳児15名、4歳児15名、5歳児14名
施設・事業所所在地	〒520-0522 滋賀県大津市和邇中浜字舟町489番1
TEL	077-594-8330
FAX	077-572-4823
電子メール	wani_328@nihonhoiku.co.jp
ホームページアドレス	<a href="https://www.nihonhoiku.co.jp">https://www.nihonhoiku.co.jp</a>

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	2023年（令和5年）11月27日・29日

### 3 評価の概要

#### ○ 総合評価

アスクわに保育園は2018年4月に、株式会社日本保育サービスが運営する保育園として津市内に2園目として開園した新しい保育園です。園は津市北部に位置し、比良山系や琵琶湖が望める自然豊かな環境にあります。近年は、交通の利便性もあり、京阪神への通勤圏として宅地化が進み、子育て家庭が増えています。園の保育理念として『未来（あす）を生きる力を培う』を掲げ、子どもたちが自分らしく、生きる道を歩み、どんな時代にも対応できる資質と能力を培う、たくましく生きる力のある子どもを目標に保育に取り組んでいます。また、運営方針として『安全と安心を第一に』する園運営を目指しています。園舎入口のオートロック、床はクッションフロア、ドアには指はさみ防止機能の扉の導入等、安全を考えた設備が整っています。「保育室衛生マニュアル」に基づき寝具類のこまめな洗濯や、おもちゃ・保育用品の消毒を徹底しています。職員による「安全委員会」を設置して、園内外の危険な箇所をチェックし、安全の確保を最優先に運営しています。更に、看護師の配置や非常災害時への避難訓練や備蓄、園入口に設置した監視カメラの導入など、保護者が安心して子どもたちを預けることができる保育園として、様々な危機管理対策に取り組んでいます。

#### ○ 特に評価の高い点

##### 1. 子どもの「自分で考え行動できる」「自ら伸びようとする力」を引き出す保育

アスクわに保育園では、様々な保育プログラムを準備しています。今年度は4歳児クラスを対象に「STEAMS保育」（科学・技術・工学・芸術・数学・運動）のプログラムを取り入れています。子どもたちが園庭で見つけたダンゴムシやバッタなどを虫ケースに入れ、観察したり触ったりすることで、「ふしぎ」「どうして?」「どうなっているの?」と気になる事をみんなで考え、話し合うことで疑問点を解決した過程をまとめた写真等が、廊下の壁に掲示されていました。

このように課題解決型学習プログラムを取り入れることで、子どもたちが自主的・自発的に学びができる環境を整えています。保育士は子どもたちの自発的な発言に対しては「やってみようか!」という合言葉で積極的に取り組んでいます。その他にも食育・体操プログラム・オンライン英語プログラム・ダンス教室等、多彩なプログラムが準備されています。また、縦割り保育を行うことで異年齢の子どもたちと一緒に活動する機会（音楽・体育・制作）を設け、互いに学び合うことを目指しています。

自然豊かな環境の中に園があるメリットを活かし、琵琶湖岸へ散歩に行き、ゆりかもめを見たり、ドングリを拾ったりしています。遠足は交通機関を使って、皇子が丘公園に行ったり水族館

に行ったりもしています。また、交通安全教室を開催して、社会的ルールを学ぶ機会を設けています。園外での活動には、担任保育士とフリーの保育士の余裕を持った体制で事故等に配慮しています。

## **2. 園長のリーダーシップによる園運営と働きやすい職場環境**

園長の保育への想いを保育士や職員全員が理解して、子どもたちと向き合っている様子が見て取れました。保育士自身が園の保育目標をしっかり認識しており、子どもの自主性や主体性を尊重した保育が実践されています。また、園長や主任保育士、クラス担当保育士が中心となり、保育現場からの課題や意見を適宜収集し、職員の悩みや相談を速やかに聞き取る体制が出来ています。職員ヒアリングからも「働きやすい職場環境です」との返答も聞かれています。

## **3. 職員への充実した研修体制**

法人本部が主体となって企画作成している研修計画（等級別による個別研修、法人全体での年間研修計画、滋賀県保育士等キャリアアップ研修、個人別年間研修計画、園内研修やその他の外部研修）など、多彩な研修へ職員を積極的に派遣・参加させています。職員も自分の受けた研修を申請し、勤務時間内に受講できる仕組みがありスキルアップのための自己研鑽が可能になっています。このように保育人材への投資が、結果として意欲的な職員を育て、園として良い保育環境に繋がっていると思われれます。

### **○ 改善を求められる点**

#### **1. 地域との関係づくりと園からの情報発信**

コロナ感染防止対応の期間を経て、今後地域へのアスクわに保育園の役割や取り組みを発信する必要があります。災害時の地域との協力体制づくりだけでなく、社会資源の豊富な和邇エリアのメリットを活かした地域住民との連携が必要です。また、地域への子育て支援や育児相談窓口の周知は行っていますが、地域の目に見えない課題などを把握するため、民生委員・児童委員やまちづくり協議会等へのより積極的な参画を期待します。

#### **2. 保育園としての中・長期計画の策定**

アスクわに保育園としての長期的な運営ビジョンを明確にする必要があります。開園後5年間の体制づくりを経て、次年度には認定こども園に移行すると伺いました。この先の園としての目指すべき方向性や保育への取り組み等を、保護者や地域住民への発信による「見える化」を望みます。

#### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価の機会をいただき評価項目ごとに説明を行うことで改めて運営面のこと、保育内容のことを振り返る機会になりました。現状の不十分な状況の再認識、違う視点からのご意見をいただき、客観的な視点で運営を見直すことの大切さを感じました。

保護者アンケートの結果から、保護者の方からのご意見やご要望に対しての対応が十分に果たせていない点につきましては、園が大事にしている家庭との連携の在り方を問われているもので、今後、対応と公表の方法について検討していきます。今回のアンケートの結果は、職員間で共有しよく吟味してこれからの保育に活かし実施していきたいと思えます。

来年度から認定こども園に移行するにあたり、改めて中長期計画を策定し、運営ビジョンを明確にして保護者、地域住民の皆様への周知を計画性をもって取り組んでまいります。地域とどのように連携を目指し貢献していくことができるのかを職員全員で考え意見を出し合い、地域に根差した園になれるように、地域の関連機関との関係作りに努め計画を実行できるようにしていきたいと思えます。この度は様々のご教示をいただきありがとうございました。一人ひとりの子どもと保護者の皆様に安心して子どもを預けてもらえるように職員一同精進してまいります。

#### 5 評価項目毎の評価結果

( 別 添 )